





令和4年 **10**月の大阪森林便り

目次

今月の木の話 針葉樹材の特徴

- (1)  森林財源、持て余す都市部 脱炭素へ有効活用課題
- (2)  国産合板在庫 7.9%増 7月末、3カ月ぶりプラス 出荷が減少
- (3)  住宅集成材 1年ぶり安値 新築着工減・輸入増で
- (4)  優れた循環型資源、脱炭素に貢献 癒しもたらず木造空間



今月の木の話 針葉樹材の特徴

*針葉樹は葉が針のように細いので、少しでも多くの太陽光を浴びようとまっすぐに伸びることに特徴があります。

*広葉樹は広い葉を広げて空間を独占するため、必ずしも幹や枝がまっすぐに伸びることはありません。

*建築用材では、利用効率や強度の観点から、木目がまっすぐに通った太い材が好まれるので、針葉樹材が多く使われます。

*家具には古くから硬い広葉樹が広く用いられてきました。

・家具の材料として好んで用いられる広葉樹には、ケヤキ、ナラ、クリ、カツラ、チーク、メイプル、キリなどがあります。

*英語で針葉樹は *softwood*、広葉樹は *hardwood* と言われています。

(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用)

(1) 森林財源、持て余す都市部 脱炭素へ有効活用課題 国が一律基準で配分、全額未消化も

*森林整備の財源として国が全自治体に配る「森林環境譲与税」の予算消化が滞っています。

*都市部は使途が乏しく、貯金に回す自治体が続出。配分全額が未消化のケースも。

*2019年度に導入された譲与税は私有人工林の面積や林業従事者数、人口に基づき都道府県や市区町村に毎年配分されます。

*森林が無くても人口に応じた金額が入ります。

*2019~2020年度の市町村分 500億円のうち、54%に相当する 272億円が未執行。

*現在は経過措置として譲与税の財源は国庫から出ていますが、2024年度新たに「森林環境税」として住民税に1000円を上乗せして徴収します。

*森林整備は温暖化ガス吸収に寄与し、日本が脱炭素を進めるうえで重要なカギを握ります。

(2022年9月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 国産合板在庫 7.9%増

7月末、3カ月ぶりプラス 出荷が減少

*7月末の国産針葉樹合板の在庫は99,618M³で、前月比7.9%増。

- ・前月を上回るのは3カ月ぶり。
- ・前年同期比では9.9%多くなっています。

*出荷量が減少したことが背景に。

- ・7月の出荷量は前月比6.2%減。

*メーカーの値上げが一服。

*住宅需要には減速感。

・7月の新設住宅着工戸数は前年同月比5.4%減の72,981戸。3カ月連続のマイナス。

*中国産針葉樹合板の輸入が急増。

- ・1~7月の中国産針葉樹合板の輸入量は、前年同期のおよそ15倍。

(2022年9月7日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) 住宅集成材 1年ぶり安値 新築着工減・輸入増で

*国産集成材の流通価格が、約1年ぶりの安値。

- ・東京地区の問屋卸価格は、集成平角が9月中旬現在、前月比7%安。
- ・集成管柱も前月比18%安。

*住宅価格の高騰や住設機器の納入遅れなどによって新設住宅の着工数が減る中、集成材の輸入が増えているのが背景に。

- ・1~7月の集成材の輸入量は前年同期比23%増。

*供給過多から輸入品の相場が下振れし、国産集成材の価格を下押し。

(2022年9月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 優れた循環型資源、脱炭素に貢献

癒しもたらす木造空間

*2021年10月に木材利用促進の対象が公共建築物から民間建築物を含めた建築物一般に拡大され、2022年6月の建築基準法改正で木造の中高層建築が立てやすくなりました。

*光合成によって大気中の二酸化炭素（CO₂）を吸収しながら成長する木は、木材として建物となっても炭素を貯蔵し続けます。

*住宅1棟あたりの炭素貯蔵量は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造プレハブの約4倍。

*CO₂排出量の点でも、生産から輸送、建設時まで含めると、住宅で鉄筋コンクリート造・鉄骨造の約6割、事務所の場合では鉄筋コンクリート造の約4割、鉄骨造の約7割。

*国土の3分の2を占める森林のうち4割が人工林の日本では、戦後に植林された森林が50年以上経過。木材として活用する旬の時期を迎えています。

*木材の利用促進は、CO₂排出量実質ゼロに向けて国が推進する「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」にも大きく寄与します。

*木は木材に加工された後も周囲の温度や湿度の変化に応じて空地中の水分を放出・吸収するため、調湿性や断熱性に優れます。

*木に含まれる様々な成分が悪臭や大気汚染の原因物質を吸着することで、消臭・抗菌効果も期待できます。

*木の香りには人をリラックスさせてストレスを緩和させたり、集中力を高めて学習や仕事の生産性を上げる効果も。

(2022年9月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

